



◎ PROFILE

ながえ・たろう 言語聴覚士。趣味は料理。大阪府出身神崎育ち
ながえ・あすか 理学療法士。花や野菜を育てるのが好き。高知県出身
ながえ・ゆうな 中1の終わりから続けているラグビーに夢中。高2
ながえ・ともか 音楽を聞いたり踊ったりするのが好き。小6
ながえ・はづき ピアノが得意。おにごっこなど外で遊ぶのが好き。小5
ながえ・はるか 縄跳びが好き。得意なのは後ろあや跳び。小2
ながえ・ちさと 保育園でこま遊びにはまっている。5歳

家族のきずな Family

友人知人の家族をリレーでつなぎます

永江拓朗さん 明日香さん 優那さん (神崎)
智花さん 葉月さん 遥香ちゃん 千里くん

神崎に住む永江さんファミリー。7人でよく買い物、公園やキャンプに出掛けるなど、お出掛け好きの仲良し家族です。

「料理は母に教わった」と話す拓朗さんは、家族でキャンプに出掛けるときに、生地から手作りしたピザを振る舞っています。そんな料理好きの拓朗さんが作る中で一番好きなものを、「マーボー豆腐!」と笑って答えるのは葉月さん。4歳からピアノを習っている葉月さんは「ショパンの『革命』が弾けるようになりたい」という目標に向かって頑張っています。1歳上の智花さんも3年生のときから金管バンド部でユーフォニウムを担当するなど、音楽好きな仲良し姉妹です。

一緒に寝る権利をかけて大げんかをするほどママが大好きなのは、遥香ちゃんと千里くん。そんなにぎやかな弟と妹たちを兄の優那さんが優しく見守ります。家では穏やかな優那さんですが、所属するラグビー部では恐れることなく相手に立ち向かう一面も。そんな優那さんのために、理学療法士の明日香さんが筋トレのアドバイスをしたり栄養満点のお弁当を作ったりしながらサポートをしてー。永江さんファミリーは、今後お互いを思いやりながらきずなを深めていきます。

次回は、明日香さんと智花さんのお友達、野村由香さん、乙葉さん＝神崎＝ファミリーをご紹介します。



本年度、結婚50年の節目を迎える喜安さん夫妻＝恵久美＝。恵一さんは、「夫婦で一緒に商売をしていたので、長いようで短かった」と半世紀を振り返ります。

「自営業なので自由な時間もなかったが、夫婦で助け合ってここまで来られた」と洋子さんへの感謝を語る恵一さん。すると洋子さんが「夫には頑張りをあげたいです」とほほ笑みながら、「表彰式に出掛ける前、50年間の『ありがとう』を伝えました」と話します。



私たちの50年 とこれから

金婚式を迎えた夫婦を紹介

(写真左から)

喜安 憲一 さん Kiyasu Kenichi

喜安 洋子 さん Kiyasu Youko

同じ仕事をしてきたこともあり、夫婦間で話題を欠くことはなかったという喜安さん夫婦。「その分けんかも多かったけど、お互いに理解できるところがあったからこそ2人で乗り越えられました」と目を細めます。

「これからも健康に気を付けて、仲良く長生きしたい」と笑う喜安さん夫婦。グランドゴルフを楽しむなど、地域の行事に積極的に参加し、地域の人たちとの関わりを大切にしながら、今後も2人並んで楽しい人生を歩んでいきます。

Statistics 統計 ()は前月比

	人の動き	男性 14,575 人 (－37)
	(H 31.3.31 現在)	女性 16,239 人 (－3)
		合計 30,814 人 (－40)
		世帯 13,423 世帯 (+9)

松前町は 2060 年に 25,000 人のまちを維持します

Payment 支払

◎納期限内に納めてください

軽自動車税 全期

納期限 5月31日金 口座振替 5月27日月

「平成 31 年度」は「令和元年度」と読み替えを

町から皆さんに発送する文書には、元号(和暦)を使用しています。

5月1日以降に町から発送する文書には原則として「令和」と表記しますが、事務処理の都合上、5月1日以降の日付でも一部「平成 31 年度」と表記するものもあります。

「平成」と表記されていても、法律上の効果は変わりませんので、「令和」と読み替えていただくようお願いします。

▼編集後記
小中学校の入学式と幼稚園の入園式の取材に行ってきた。新しい制服に身を包んだ新入生の元気な姿を見て、自分にもこんな時期があったなと懐かしい気持ちになりながらカメラを構えていました。(松本)
今回の特集取材では、町内をぐるぐるしながら突撃インタビューに挑戦。皆さん快く答えてくれたり、「広報見ているよ」と励ましてくれたり。たくさんさんの笑顔に出会い、新時代の幕開けにぴったりの楽しい取材となりました。(酒井)

編集後記



※日本企業及び関係会社による

Boys&Girls, Be Kids Ambitious!

頑張る子どもを紹介します

「詩吟の上級者になりたい」

(写真左から) 三谷樹輝さん・筒井、菅鈴実さん・宗意原、大森茉優さん・新立、原子結名さん・北黒田

松前小学校6年生の仲良し4人組。彼らが夢中になって頑張っているのは日本の伝統芸能、「詩吟」です。

詩吟を始めたきっかけを、「小学校3年生のとき、学校に教えるに来てくれた先生に誘われたから」と話す4人。毎週水曜日の放課後、学校の家庭科室で練習に励んでいます。

普段耳にする音楽と違い、独特の音程と声の出し方で歌を表現する詩吟。「声を出すときに正しい口の形にしないといけないのが難しい」と樹輝さんが話すように、一度歌い方に癖がつくと修正するのが大変です。一方詩吟を始めるまで自分に自信がなかったという結名さんが、「だんだん自信がついて授業中にも発表できるようになった」と笑うように、人前で練習の成果を披



露することは学校生活にも良い影響を与えています。

これからの目標を、「みんなでもっと練習して、詩吟の上級者になりたい」と意気込む茉優さんに、「しっかり音程を覚えて後輩に教えられるようになりたい」とほほ笑む鈴実さん。「ずっと詩吟を続けたい」と力強く話す4人は、詩吟を通じて仲間と過ごす時間を大切に、技術的にも精神的にも大きく成長していくことでしょう。